

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	青少年課長	瀬谷 公重
こども-33	実施事業	育成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 青少年課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年等
意図	地域社会における青少年等の健全育成のため、青少年の健全育成の指針となる基本理念・基本目標・取組方針の推進を図るため、青少年の非行・問題行動の早期発見とその指導を行うため。
効果	地域の青少年指導者として健全育成に関与するとともに、子ども達が様々な体験を通し心身ともに健やかに成長することを図る。青少年が心身ともに健やかに成長し、個性豊かな人間形成を図り、自立できるよう、家庭・学校・地域を基盤とする、良好な環境づくりを進める。青少年の非行・問題行動への取り組みを図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

研修会(救急救命講習会)を行い青少年指導員としての資質向上に努めた。 小学生を対象としたキャンプ等各種行事を実施し、協力・協調することを学んだ。 成人のつどい実行委員会を設け、成人のつどいを開催した。 玉縄青少年会館のロビーを整備し、自習スペースを設け青少年の居場所づくりを行った。 市内県立高校4校との協議により、青少年フェスタでの青少年の発表の場を設けた。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳) ・事業の対象者7歳～20歳
事業の対象者数	21,080人	21,120人	21,120人	21,120人	21,161人	21,161人	
運営資源状況	決算値(千円)	4,966	5,142	5,142	当初予算(千円)	6,486	
	国県支出金	300	300	300	国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他				その他		
	一般財源	4,666	4,842	4,842	一般財源	6,486	
	人員配置数	1.5	1.7	1.7	人員配置数	1.7	
	人件費(千円)	12,471	13,953	13,953	人件費(千円)	13,316	
事業経費運営	総事業費(千円)	17,437	19,095	19,095	総事業費(千円)	19,802	
	市民1人当りの経費(円)	99	108	108	市民1人当りの経費(円)	112	
	対象者1人当りの経費(円)	827	904	904	対象者1人当りの経費(円)	936	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 青少年指導員連絡協議会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	子どもキャンプ、研修会他地域での青少年指導員の活動があり、青少年の健全育成に寄与している。高校生の社会参画を推奨し、居場所づくりに努めた。成人のつどい対象者で成人のつどい実行委員会を設置し、意見を取り入れ、成人のつどいを開催するため継続して実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	青少年指導員が中心となって「子どもキャンプ」や作文コンクールを実施し、青少年の発表の場として青少年フェスタの継続実施をした。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	各地域から推薦していただき全市で取り組んでいくため、高齢化もあり欠員が生じている行政・団体・地域との活動の認識に差があるため、更なる協議、連携が不可欠である	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	青少年指導員の活動内容や意義を広く知ってもらうために活動の記録を作成し、町内会等に配付した	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員の確保 ・多岐複雑化している引きこもりの相談窓口とバックアップ体制の構築 ・青少年の居場所づくりと社会参画の推進 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年指導員の人数及び定数								
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町				
他市実績	62	149	51	19	17				
	75	160	55	20	17				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市町では概ね定数に近い人数で委嘱されている
----------------------	-------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年指導員の人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
青少年を対象とした取り組みの指標となるため	目標値	75	75	75	75	75	75			
	実績値	65	63	56	58	62				
	達成率	86.7%	84.0%	74.7%	77.3%	82.7%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	青少年指導員の任期は2年であり、近年は定年後も就労する人が多く、新規の青少年指導員の推薦が困難となっている。引き続き自治町内会長へ推薦依頼をしていく
-----------------------	--